

ことばの
意味を
学ぼう！

青年訓 ④

泰然自若 試練に耐えよ 事に臨んで 不動なれ



●青年訓

天恵地恩に感謝を捧げ 報恩奉仕が人の道
道に遵いざ奮い起て 平和の建設我等の使
命 逆巻く怒濤猛くとも 天意は固く揺るぎ
なし 泰然自若試練に耐えよ 事に臨んで不
動なれ 真理つかめば心は躍る 大地踏みし
め天職努力 徳を積みつつ進めよ和せよ 自
然の恵は必ず降る 暗い世道に悲観をするな
明るい朝が待っている 一步踏み出し大空望
め 光明希望が展げくる 怒るな責めるな苦
しむな 善きも悪しきもみな鑑 憂い打ち捨
ていざ突き進め 信念一つで万事を開く

私たちの目前に現れる様々
な出来事。困難なことだって
心次第、受け止め方次第で乗
り越えられる。

試練を乗り越え自分をステッ
プアップしていきましょう。

※ 泰然自若 ▶ 少しも動ぜず、慌てず、落ち着いているさま
※ 試練 ▶ 決心などの強さをきびしくためすこと。また、その時の苦しみや苦難
※ 不動 ▶ 物が動かないこと



先月号では、私たちが出会う様々

な出来事は、神様から与えられた試
練であり、計らいであること。その
奥には常に私たちを守り導く神の御
心があることをお伝えしました。で
はそうした試練をどのような心で受
け止めて、乗り越える糧にしたら良
いのでしょうか。

学校のクラブ活動を例にしてみま
しょう。練習では「大変だなあ、嫌
だなあ」と苦労することもあるで
しょう。けれど、辛いからといって
練習の手を抜いたりしては上達
しません。困難な道を選ばなくなる
気持ちには誰にでもありますが、その
苦難や困難は自分を上達させるため
の大切な機会なのです。ですから
「自分にいって必要なこと」として
受け止めることによって、その困難

が自分を成長させる糧になります。

そのためには「将来はプロになる
んだ」というような、強い決意や目
標を持つことが大切です。その決意
によって、日々の辛い練習にも臨む
ことができるはずですよ。

そうした中でも思いもよらぬ困難
がつきものですが、「ここが正念場
だ」と自分の心に言い聞かせ、努力
することです。「耐えよ」「不動なれ」
にはそういうメッセージがありま
す。TVで脚光を浴びるような選手た
ちも、目標と強い決心を持って、困
難をも成長の糧にして乗り越え、そ
の舞台に立っているのです。

青年訓では「平和の建設」という
大きな目標が掲げられています。そ
の使命を胸に、何事にも動じない心
で日々努力させて頂きましょう。